

# SUMMARY

No110119

これまで「ナンバーオペレーションは相場ではない。」と繰り返し述べてきました。

← 第一に、経済社会における「価格」を扱っていません。

それは言葉以上に深い意味を思っています。

上っ面だけなぞった浅い理解では偉大な“数”の変化に撥ねつけられてしまいます。オペレーションの技術は深い思考があってこそ私たちが目的地に運んでくれます。

→ 自然科学の思想・原理と意味にいます。

10/30に米FRBが利下げを実施しました。それとナンバーオペレーションが関係しているのでしょうか。金利は数学的な原理に基づく仕組みです。その意味では、ナンバーオペレーションと関係はないのですが、オペレーションやハンド操作の実践上無視することができます。なぜなら、金利の数値的变化が長期的にナンバーオペレーションの数値に与える影響は微々たるものだからです。マトリックスの数値構造に含まれた時間がもたらす価値の変化の方が金利のそれよりはるかに大きいということです。

マトリックスの数値構造がもたらす「数」の量について考えたい。

FRBは金利に手を加えることによってマネーの量を調節することができます。また、FRBにはもう一つの特権があります。ドル紙幣を好きな時に好きなだけ印刷して作り出すことができる権限はFRBだけに許されています。その特権は絶大です。

FRBは通貨を発行することで利益を得ることができ、それを「シーニョレッジ」といいます。

FRBがいとも簡単にマネーを生み出す能力を私たちは合法的に持つことができないでしょうか。

ナンバーオペレーションは「マネーとは何か。」について深く考えさせてくれます。

← これについて考え続けたい。

オペレーションの実践力を身につけ技術水準が向上し実績を積み上げても、時々基礎に立ち返ってください。「基礎」とは初心者が学ぶべき易しいレベルの内容という意味ではありません。すべての土台であり理論上最も深い内容を含んでいます。生涯をかけてもカバーしきれないほどの深い内容が隠れています。

← “基礎”に立ちかえって基礎から徐々に学んで下さい。

以下の項目について現段階で理解していることを整理してみましょう。ナンバーオペレーションは“思考”を基にしているので「理論」と「実践」が一致します。上手・下手が伴う運動能力が試されるわけではありません。深い思考力が求められる特殊な事業です。

基礎ほど深いものはありません。

⇒ ナンバーオペレーションのほうは競技とは遠い町。  
\*\*\*\*\*

- ナンバーオペレーションの基礎的理論
- マトリックスの数値構造とバリューチェーンの価値構造 (=マトリックスとバリューチェーンの関係)
- バリューチェーンの活かし方 (=収益を生むハンドの数学的原理= 時間が生み出す価値/時間がもたらす収益=ITV/OTV/STVの共演)

複雑な内容は全て基礎の積み重ねです。

\*\*\*\*\*